

◎令和5年度会員数および新入会員数 [5月末日現在] ()内は88歳以上の会員数

	支 部	さいたま市	北足立南部	北足立北部	入 間	比 企	秩 父	児 玉	大 里	北埼玉	埼 葛	合 計
会員数	令和5年度	351(57)	487(49)	220(27)	681(78)	253(44)	151(30)	130(20)	289(52)	235(41)	480(77)	3,277(475)
	前年度	399(55)	512(37)	245(27)	734(87)	298(39)	182(27)	149(18)	341(48)	279(40)	547(67)	3,686(445)
新会員	令和5年度	13	31	9	32	8	3	7	11	7	25	146
	前年度	18	19	11	38	14	4	5	14	6	25	154

◎ 支部情報 <大里支部>の活動紹介 (令和5年度)

- 定期総会 令和5年5月13日(土) 10:00~ [会場 熊谷市立江南公民館]
- 役員・理事会 年2回 令和5年9月10日・令和6年3月23日(土)
- 行 事
 - ①現職・退職校長教育推進協議会 [主催: 県退職校長会大里支部・大里地区校長会]
日時 令和5年11月7日(火) 13:00~ [会場: 深谷市文化会館]
 - ②会報発行 年2回 第55号(令和5年7月22日) 第56号(令和6年2月10日)
 - ③ゴルフ大会 6月6日(金)・11月16日(木) 上里ゴルフ場
 - ④絵画同好会作品展 10月6日(金)~10月8日(日) [会場 熊谷市文化センター]
 - ⑤囲碁大会 5月27日(土)・11月11日(土) [会場 くまびあ]
 - ⑥同好会 写真・絵画・囲碁・水墨画

令和5年度 埼玉県公立小学校校長会・埼玉県中学校学校長会
さいたま市立小学校校長会・さいたま市中学校長会 会長及び副会長等名

		小 学 校				中 学 校			
埼 玉 県	会 長	片 桐 雅 之 (深谷・深谷小)				浅 沼 俊 英 (狭山・西中)			
	副会長	増 田 正 夫 (加須・加須小)		東 安 藤 秀 一 (行田・忍中)		西 江 原 勝 美 (所沢・所沢中)		東 西	
		福 島 みどり (川越・中央小)		南 石 井 伸 明 (川越・霞ヶ関中)		西 南		西	
		山 田 浩 一 (上尾・上平小)		北 土 橋 轍 嘉 (朝霞・朝霞第二中)		南 北		南	
		吉 野 富 夫 (熊谷・熊谷東小)		森 田 吉 信 (川口・南中)		北		南	
事務局	上 原 一 良 (局長) 升 屋 好 永 (次長)				矢 島 充 夫 (局長) 深 澤 眞 佐 子 (局員)				
さい たま 市	会 長	三 島 公 夫 (常盤小)				小 熊 誠 (日進中)			
	副会長	永 山 誉 (高砂小)		石 川 顕 一 (木崎小)		大 河 内 範 一 (指扇中)		小 林 正 樹 (大谷口中)	
		永 井 有 司 (北浦和小)		河 野 秀 樹 (仲町小)		小 林 正 美 (大宮北中)		堀 口 成 之 (宮原中)	
	野 津 美 智 代 (大宮南小)				山 口 聡 (植水中)				

*さいたま市立小学校校長会は埼玉県公立小学校校長会にも入会しています。

◎教員採用試験 教員増へ門戸拡大 (読売新聞朝刊7月18日より)

2022年度採用試験の倍率は、公立小学校で最低の2.5倍まで落ち込んだ。教員不足が深刻化する中、各地の教育採用試験で、志願者の奪い合いが加速している。合格後の取得を条件に、教員免許を持たない社会人らに門戸を開く自治体も相次ぐ。

社会人「後から免許」 民間企業で勤務歴がある人らを対象とし、合格後に教員免許を取得してもらう。こうした「後から免許」採用は、埼玉県や福岡県などでも今年から導入した。大阪市やさいたま市は大学での研究歴や研究機関や企業に勤務した経験を持つ人向けの採用枠を新設した。合格者は教職課程を修了して教員免許を取る必要がなく、府・県教委からの「特別免許」で教壇に立つ。

「質の確保」必要 埼玉県の公立小の校長は「教員への適性は時間をかけて見極めるべきだ。現場理解が不十分なままだと、学校のさまざまな問題に対応できないのでは」と心配する。さいたま市も「これまでの職場と学校は大きく違う」とし、授業見学などの機会を設けたいとしている。

埼玉県知事・埼玉県議会議員・埼玉県教育委員会教育長へ
「埼玉県教育の振興等に関する要望書」 9月7日に提出

- 1 定年引き上げの趣旨と背景を踏まえ退職校長の豊かな体験と専門的知識・技能を活かし、学校教育・生涯学習等の支援に幅広く貢献できる施策等により退職校長会の活用を講じられたい。
 - (1) 退職校長の教育に係る専門性を重視され、各種審議会、県教育委員会推進諸事業等へのなおいっそうの人材活用を図られたい。
 - (2) 退職校長の力量を活かすことができる、管理職等への再任用について拡充・増員を図られたい。
 - (3) 再任用・再雇用について、公的年金の支給開始年齢の引き上げに伴い、定年延長を踏まえた、再就職先・職域の拡大や勤務条件の改善など更なる充実を図られたい。
- 2 学びの環境整備及び質の高い学校教育を実現するため、下記の施策についていっそうのご配慮・ご支援をお願いしたい。
 - (1) いじめをはじめ生徒指導上の問題解決には、教員が子供と向き合う時間的余裕の確保が、極めて大切である。しかしながら、日本の教員の職務多忙ぶりが明らかになっている。こうした状況改善に、教員の定数改善や事務量軽減など学校における働き方改革に向けて特段のご配慮をお願いしたい。更に、専門的知識・技能を有する臨床心理士等の全小中学校への配置と配置日数の拡充をお願いしたい。
 - (2) 教職希望の優秀な人材を目指すため、社会人経験者対象のセカンドキャリア特別選考の推進・拡大をお願いしたい。
 - (3) 勤労意欲の向上を図る人材確保法の堅持と、その趣旨に照らした給与水準の改善、魅力ある管理職や管理職手当引き上げなど、有効な処遇改善を図る予算措置をお願いしたい。
 - (4) GIGAスクール構想に基づく、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現するために、これまでの実践とICTのベストミックスを図り、ICT環境を有効活用する指導法の研修を充実・推進する予算措置をお願いしたい。
 - (5) 児童生徒の学力向上や一貫した生徒指導を推進するため、定数内臨時的任用教員の早期解消に向けて特段の努力をお願いしたい。
- 3 学習指導要領の円滑な実施を図るため、下記の条件の整備に特段のご配慮をお願いしたい。
 - (1) 県教育委員会の実施する研究協議会の運営や資料作成のため、予算措置にご高配とご支援をお願いしたい。
 - (2) 特別の教科道徳や外国語教育、プログラミング教育・オンライン学習に係るICT活用について、教員研修、指導・評価資料、ICT教育機器の充実に係わる行き届いた予算措置をお願いしたい。
 - (3) 小学校高学年における教科担任制を推進するために、外国語教育や理科・算数等、専科教員のさらなる増員・配置を図られたい。
- 4 県教育委員会の推進する学力向上対策等の諸事業が、確実に成果を上げるため、適切な予算措置等をお願いしたい。
 - (1) 全国から注目されている埼玉県独自の「埼玉県学力・学習状況調査」は、児童生徒一人一人の学力を伸ばす教育の視点から重要な役割を果たすものである。タブレット端末での回答の工夫・導入等、円滑かつ継続的な実施に向かた十分な予算措置を図られたい。
 - (2) 国及び県の「学力・学習状況調査」の分析結果公表については、学校間、地域間での過剰な競争や問題が起これらぬよう慎重な配慮を図られたい。
 - (3) 学校と家庭・地域の連携事業である「コミュニティー・スクール」「学校応援団」「体験活動」並びに義務教育9年間の学びと育ちの連続性を重視した「小中一貫教育」推進について、これらいっそうの充実を図るため必要な予算措置を図られたい。
- 5 義務教育は、国の責任において行うべきものであり、義務教育費国庫負担の割合を2分の1に戻すべきである。また、「教育立国」を掲げる我が国として、公財政教育費支出の大幅増について格段のご理解とご支援をお願いしたい。
 - (1) 義務教育は憲法が保障する国民の権利であり、全国どこでも、すべての子供が一定水準の教育が受けられることを具現する根幹の制度である。それにもかかわらず、平成18年度より、義務教育費国庫負担の割合が、2分の1から3分の1に減額されている。速やかに2分の1に復元できるようお力添えをお願いしたい。
 - (2) 教育費に係る公財政負担支出を、他の先進国並みのGDP比5%以上を目標にいっそうのご尽力とお力添えをお願いしたい。
- 6 年金一元化に伴う退職公務員の年金給付を堅持すること、並びに高齢者医療・介護制度の見直しによる負担増がないように、特段のご支援をお願いしたい。
 - (1) 一元化された年金の運用については、公務員の職務の特殊性、人材確保と勤労意欲の向上に最大限配慮するとともに、「既裁定者への給付額の確保」「再任用・継続雇用に係る法令のいっそうの整備・拡充」等に特段のご理解とお力添えをお願いしたい。
 - (2) 高齢者医療・介護制度の見直しに当たっては、高齢者の生活に配慮し、健康保険料・介護保険料等の負担が過重にならないよう、ご理解とお力添えをお願いしたい。